※令和３年度以前入学生用

| 学校番号 | 3018 |
|---|---|

# 令和５年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 世界史Ａ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 世界の歴史Ａ　改訂版（山川出版社） | | | | | | |
| 副教材等 | 明解世界史図説　エスカリエ　十四訂版（帝国書院） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・中学校社会科で学んだ歴史の分野のうち、近現代史を中心とする世界の歴史を学びます。難しい語句や人名が登場するので、復習を必ずやりましょう。
・写真や絵図、グラフなど豊富な資料を授業で使用し、理解しやすい授業をめざします。
・世界の一体化の始まりから平和と冷戦、現代世界と日本までを授業で取りあげます。特に１９世紀以降は詳しく学習します。しっかり学習してください。

## ２　学習の到達目標

近現代史を中心とする世界の歴史を、日本の歴史と関連づけながら理解させ、人類の課題を多面的に考察することにより歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 近現代史を中心とする世界の歴史について興味関心を持ち、これを追究する意欲や姿勢がある。 | 現代の諸課題を歴史的な視点から思考し判断できる。世界の歴史と日本の関連について考察できている。 | 地理歴史にまつわる諸資料を収集し、役立つ情報を主体的に選択し、活用している。 | 時代・地域ごとの特色を理解し、その知識が身に付いている。 |
| 評価方法 | 授業への取り組み<br>（授業発問）<br>完成した課題を時間厳守で提出<br>小テスト<br>定期考査 | 完成した課題を時間厳守で提出<br>小テスト<br>定期考査<br>発表 | 完成した課題を時間厳守で提出<br>小テスト<br>定期考査 | 完成した課題を時間厳守で提出<br>小テスト<br>定期考査 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

## ４　学習の活動

※令和３年度以前入学生用

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 一学期 | 世界の一体化と日本 | ・諸地域世界と交流圏<br>・明・清代の東アジア<br>・ムガル帝国・オスマン帝国<br>・大航海時代<br>・ルネサンス<br>・宗教改革<br>・絶対王政 | ○ | | ○ | ○ | a:授業に積極的に取り組んでいるか。<br>b:理解した内容に自分の考えを持てているか。<br>c:資料を読み込めているか。<br>d:語句の意味が理解できているか。 | ・授業発問<br>・課題提出<br>・小テスト<br>・定期考査<br>・発表 |
| 一学期 | 世界の一体化と日本 | ・アメリカ独立とフランス革命<br>・イギリス産業革命<br>・ウィーン体制<br>・クリミア戦争<br>・イタリア・ドイツの統一<br>・アメリカ合衆国・ラテンアメリカ<br>・アジアの植民地 | ○ | ○ | | ○ | a:授業に積極的に取り組んでいるか。<br>b:理解した内容に自分の考えを持てているか。<br>c:資料を読み込めているか。<br>d:語句の意味が理解できているか。 | ・授業発問<br>・課題提出<br>・小テスト<br>・定期考査<br>・発表 |
| 二学期 | 地球社会と日本 | ・資本主義社会の成熟<br>・世界分割と一体化の進展<br>・帝国主義<br>・植民地での民衆反乱<br>・日露戦争と韓国併合<br>・辛亥革命<br>・第一次世界大戦 | ○ | ○ | | ○ | a:授業に積極的に取り組んでいるか。<br>b:理解した内容に自分の考えを持てているか。<br>c:資料を読み込めているか。<br>d:語句の意味が理解できているか。 | ・授業発問<br>・課題提出<br>・小テスト<br>・定期考査<br>・発表 |
| 二学期 | 地球社会と日本 | ・ロシア革命<br>・ヴェルサイユ体制<br>・ワシントン体制<br>・アジア諸地域の抵抗と独立<br>・世界恐慌<br>・ファシズムの台頭<br>・満州事変と日中戦争 | ○ | ○ | | ○ | a:授業に積極的に取り組んでいるか。<br>b:理解した内容に自分の考えを持てているか。<br>c:資料を読み込めているか。<br>d:語句の意味が理解できているか。 | ・授業発問<br>・課題提出<br>・小テスト<br>・定期考査<br>・発表 |
| 三学期 | 地球社会と日本 | ・第二次世界大戦<br>・冷戦の開始<br>・核戦争の危機<br>・第三世界の出現<br>・現代世界と日本 | ○ | ○ | | ○ | a:授業に積極的に取り組んでいるか。<br>b:理解した内容に自分の考えを持てているか。<br>c:資料を読み込めているか。<br>d:語句の意味が理解できているか。 | ・授業発問<br>・課題提出<br>・小テスト<br>・定期考査 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。